

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 7月30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市甲南町竜法師1456

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
天馬株式会社 滋賀工場
工場長 阿部 峰弘

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	天馬株式会社 代表取締役社長 廣野 裕彦
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都北区赤羽一丁目63番6号

1 事業者の概要

事業所の名称	天馬株式会社 滋賀工場								
事業所の所在地	滋賀県甲賀市甲南町竜法師1456番地								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	9	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 プラスチック製容器製造業			
事業の概要	プラスチック製品製造								
従業員の数	187 人			操業時間		24 時間/日			
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	☐ 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備		台	照明設備		台
	コンプレッサ	9	台	空気調和設備		台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2023 年度	報告対象年度	2023 年度
	終了年度	2027 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

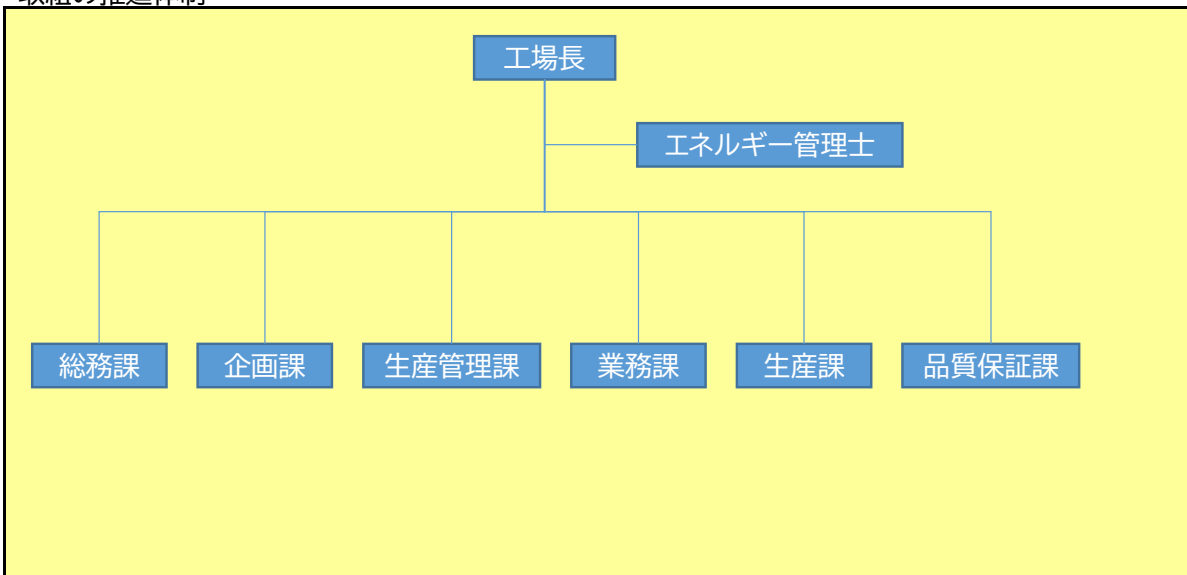
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境方針

- ・天馬の役員、社員一人一人は、経営理念のもと、省資源省エネ及びリサイクルの推進と廃棄物の削減を図るため、環境負荷を軽減する生産体制を構築します。
- ・環境への影響を考え、当社に係る法規制及びお取引や、関係地域等の要求事項を遵守し、安全確保を第一とします。
- ・輸送効率を図り、貨物1個当たりの自動車排ガス量を減少させます。また梱包・包装の簡略化を図ります。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・油圧式射出成形機を電動射出成形機へ変更
- ・コンプレッサーのインバーター化
- ・LED照明、灯具への変更

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	油圧成形機の電動成形機への変更	2023年	電動成形機2台更新
2	設備導入	電力設備更新による効率化	2023年～2027年	
3	設備導入	LED照明へ変更及び機器更新	2023年～2027年	
4	設備導入	電気式ボイラーへの更新	2023年～2024年	
5	設備導入	成形機ヒータージャケット導入による電力使用量削減	2023年～2024年	

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		該当なし		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
設備の変更によるCo2排出量の削減 移動動線効率化による燃料使用量削減 原単位 $\frac{\text{エネルギー使用量(原油換算kl)}}{\text{原料使用量(t)}}$		自家消費型太陽光発電の発電開始によりCo2排出量削減に寄与

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2,340	1,708				
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,037	2,663				
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,037	2,663				
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.268	0.220				

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電開始	2023年5月～	自家消費型太陽光発電開始により 1,291,997kwh発電し全体の16.7%賄う
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	自家消費太陽光発電設備導入による発電
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	1,225	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他（ ）		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	#####				
上記のうち自家消費量	kWh	0	#####				

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
金型移動による生産拠点変更により、輸送に係る燃料の削減。	一年間で当工場より518型他工場金型移動及び、他工場より511型の金型受け入れ実施し生産活動を行う。
	CO ₂ 削減貢献量
	t-CO2

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
金型移動による生産拠点変更により、従来遠方出荷していた製品の近隣での生産に切り替える事による輸送距離短縮による燃料消費の削減。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
金型移動による生産拠点変更により、従来遠方出荷していた製品の近隣での生産に切り替える事による輸送距離短縮による燃料消費の削減となることで、温室効果ガスの排出削減に寄与
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	(2027)年度
保有車輛の数	台	7	7				
上記のうち 次世代自動車の数	台	2	2				
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1				
2				
3				
4				
5				